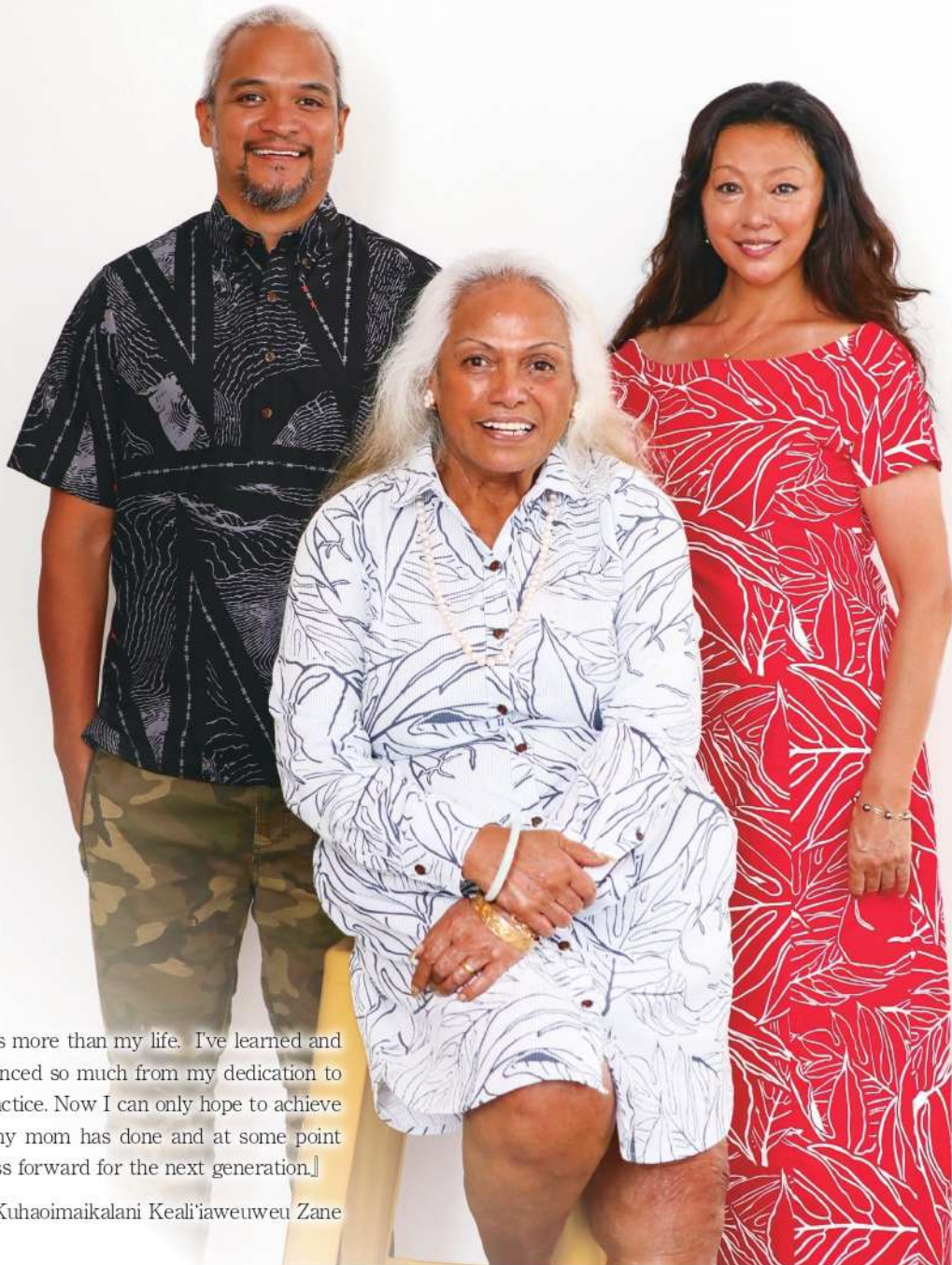


# KA WA'A MAMUA

～未来へ～



『Hula is more than my life. I've learned and experienced so much from my dedication to this practice. Now I can only hope to achieve what my mom has done and at some point progress forward for the next generation.』

Kuhaoimaikalani Keali'iaweuewu Zane

Kuhao Zane

Nalani Kanaka'ole

カトーエミイ



カトーエミイ舞踊塾フラアーツ

[www.emii-aloha.com](http://www.emii-aloha.com)





輝き続けるクムフラ ナラニ・カナカオレ



満月の深夜、ハワイ島マカラヴェナのビーチにしか現れない KUPEE NOHI。直径5センチほどの大きさに成長するまで50年かかる稀少な貝

## 【Keep Shinning Kumu/ Nalani・Kanaka'ole】

ハワイ島のヒロで祖母から娘、娘から子へ、フラが禁じられた時代でも代々ハワイの伝統を絶やさず伝えてきたハーラウ・オ・ケクヒの魂を込めて踊るフラは見るものを圧倒する。

なかなか収束しないコロナ禍のなか、フラ・カヒコの大御所アンティー、ナラニ・カナカオレに最近の動向やハーラウ・オ・ケクヒの継承についても伺うことができましたのでお伝えします。

**Q:** コロナ禍の間、素晴らしい絵画作品を制作されましたが、いつ頃からアートに興味がありましたか？

**アンティー:** 私は30才を過ぎてから、ハワイ大学ヒロ校で芸術科を専攻し、美術学科でBA(学士)を取得しました。今も版画や彫刻、テキスタイルデザインに興味があるのよ。

**Q:** 作品の特徴や、デザインされたパウワーについてお聞かせください。

**アンティー:** 最近仕上げたティーリーフやクウペツエの作品は、水彩ペンやチョークを用いた絵画を、オヘカバラ

(竹でスタンピング)を施したカパ(樹皮)の上に貼り付けたものです。

今もなお、主にオヘカバラの手法でPĀ'Ū(フラのスカート)デザインしていますが、フラにおけるPĀ'Ūは、実は雲を比喻しています。ラカは地球上の水層帯“AOLOA”を満たす女神なのです。そのパウワーを身につけてフラを舞うわけですから、フラダンサーは森に降りしきる雨を感じながら、私達を取り巻く環境がいつまでも美しくあり続けるためにどうすればいいのかを考えなくてはなりません。

**Q:** 今さらですがフラを最初に習ったのはいつ頃ですか？何かエピソードはありますか？

**アンティー:** 私の祖母 Mary AHIENA KANA'ELE は、二人の従姉妹とともに、フラカブという厳しい規律と伝統の遵守に基づいた古典フラを復興させましたが、祖母の尽力によりアイハッパ(大地としっかりと結ばれた足腰で舞うスタイル)と呼ばれる『伝承の特権』を私達は得たのです。彼女達は祖先とともに、大地を創造する女神ペレに対し

ただではなく、樹皮で作られたカパのパウワーをまとい、大地を潤す女神ラカヘフラを捧げました。

宮廷フラダンサーであった祖母の母(曾祖母: ♪ヒロオネに出てくるエマリアは曾祖母の姉妹)は、オーシャンフロントにある“KAIPALAOA”というヘアウでハイランクの祖母を出産しましたが、その祖母の元で私は母達女性一族とともに、5才からフラを始めました。祖母は、KAHOLOWA'A という伝説の祈祷師でもあるクムフラから、時代柄、洞窟で密かにフラの学びを受けました。夢の中で、一夜にして一曲をマスターしたと聞いています。ともにフラを学んでいた伯母の Mary Keahilihau がメインランドへ引っ越してしまった後、母が継承する事になり、文化活動で多忙だった母は私にフラの指導を委ねました。私のフラ家系では、長女または先に産まれた人間が世襲しなければならないにも関わらず、末っ子の私がクムフラ業をしなければならなくなったのです。それは、私が13才の時です。特訓の後、15才で正





NFLのチームユニフォームや、ナイキとのコラボレーション商品もデザインしているクハオ・ゼーン



ハワイ大学アート学科卒業時の版画作品



シグゼーンショップに飾られたティーリーフ画。同デザインのスカーフも商品になっている



エミイさんのために一枚プレゼントされたKUPE'E 画オヘカパラストイル

Photo by Mikazuki Camera Hawaii

式に全てを指導するクムフラとなりました。

私の後は.... 息子の KUHAO と従兄 ULUMAU がクムフラとして継承するでしょう。それまでの間、姪の HUIHUI がハラウ・オ・ケクヒを守る事になります。

**Q:**あなたにとってフラは人生そのものだと思えますが、フラとアートの関連性とは？

**アンティー:**フラは、単に踊るだけではなく関連した全てのアーツを学ぶ事が大切です。ハワイアン原語から始まり、'A'AHU (儀式的衣装) 作製、レイメイキング、大自然と同化するチャントの発声、パフやイブをはじめ古典楽器の数々を正確に打ちこなす事まで。ハラウのクムフラから直接でなければ聞き知る事のできない歴史も....。それらの数々は、ハワイ文化の残存であり、大地へ繋がる愛であり、確かな方法で神々とともになされるべきものなのです。

熟練する事で、フラはあなたを取り巻くもの全ての本質をあなたに教えてく

れるのです。

**Q:**今までにフラ以外の仕事につきたいと思った事はありますか？

**アンティー:**私はスパルタを幼少から受けていたので、レッスンが辛くてフラの先生ではなく、実はアーティストとして活動したかったの。今もなお志しているのよ(笑) 裕福な暮らしではなくても最高にハッピーだった HOKUSAI (葛飾北斎) のように！

**Q:**では、フラから受けた恩恵とはどのようなものでしょう？

**アンティー:**フラを続けてきて一番得た恩恵は、チャントやオリを通して“降臨”したご先祖から様々な叢智を授かった事かしら。

**Q:**日本のフラダンサーへのメッセージがあれば教えてください。

**アンティー:**私が長い間エミイ (日本人で唯一の弟子カトーエミイ) に言い続けてきた事は『与えられた課題に誠実に正確な結果を出す』のみ。彼女は10年間怠らずに努力していると思います。

また、もう一点、指導者である以前に

一人のフラダンサーとしてプラクティス！練習！練習！すること。これはフラを学ぶ全ての日本人ダンサーに向けてですが、古典フラの統一された手法でトレーニングを重ねる事が大切です。練習する事こそがフラへの敬愛そのものです。そして、同時に全てのものに慈しみをもつ心を育みましょう。都会に暮らしていても、神々が宿る緑濃き植物や神社は存在していますし、この世への計り知れない愛を表現できます。そして、夜空に昇った美しい月や、咲き誇った花々を愛でる時、あなたは、人としてあなた自身が高められるのです。

最後に、私はハワイ島ヒロの日本人居留区で育ちました。私の祖母 AHIENA が最後に結婚した相手 (3 番目の夫) は“藤井さん”という日本人で、従兄弟達は日本語学校に通っていました。彼らの影響でサムライ映画や武道が大好きです (笑)

(ナラニカナカッオレ談)